

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-23384

(43) 公開日 平成9年(1997) 1月21日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 4 N 5/335

識別記号

庁内整理番号

F I

H 0 4 N 5/335

技術表示箇所

P

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願平7-173222

(22) 出願日 平成7年(1995) 7月10日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号

(72) 発明者 吉原 賢

東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 真城 康人

東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 35 号 ソニー株式会社内

(74) 代理人 弁理士 船橋 國則

(54) 【発明の名称】 固体撮像装置

(57) 【要約】

【課題】 固体撮像素子の出力信号を所定の基準電位にクランプする際に、クランプ以降に発生する転送中断期間での高い電圧がそのまま後段の A/D コンバータに入力されてしまう。

【解決手段】 クランプパルス ϕ_{CLP1} によって 1 ライン前の最終画素の信号の途中から空送り部 13a の信号の転送クロック ϕ_{H1} 、 ϕ_{H2} の停止期間終了後までのサンプルホールド出力 V_a をクランプレベル V_{ref} にクランプし、さらにクランプパルス ϕ_{CLP2} によって OPB 部 11a の 2 画素目以降のサンプルホールド出力 V_a をクランプレベル V_{ref} にクランプし、後段の A/D コンバータにその基準電圧を越える信号電圧 V_{out} を出力しないようにする。

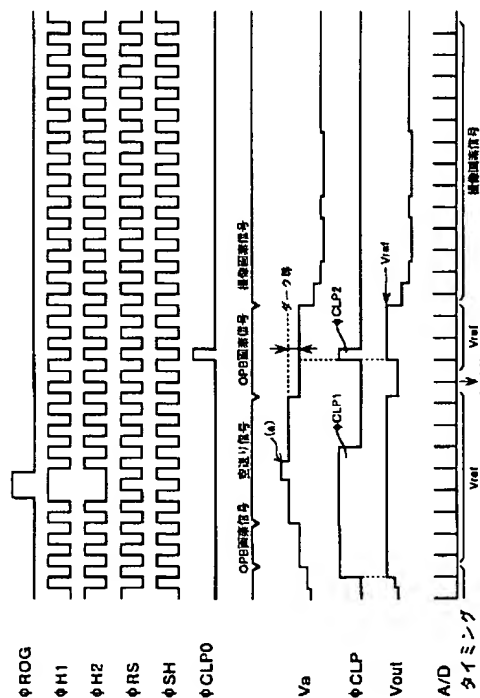


図3実施例の動作説明のためのタイミングチャート